

Ⅱ. 環境衛生管理業務

1. 目的

「建築物における衛生環境の確保に関する法律」に基づく環境衛生管理基準に従って建築物の維持管理を行う。

2. 業務範囲

「建築物における衛生環境の確保に関する法律」（以下「法」という。）第6条に規定する建築物環境衛生管理技術者（以下「技術者」という。）を乙と雇用関係を有する者のうちから選任する。

- (1) 特定建築物についての届出書類等の作成
- (2) 建築物環境衛生管理技術者の選任
- (3) 帳簿書類の報告・保管
- (4) 都道府県知事の要求による報告書の作成
- (5) 管理業務計画の立案、提出
- (6) 管理基準に関する測定検査の実施とその結果の評価

※ 技術者は施設が法第4条に定める建築物環境衛生管理基準に従って維持管理されているかを点検し報告を行う。この場合における点検は、次の項目について行う。

(ア) 空気環境、(イ) 給水設備、(ウ) 排水設備、(エ) 清掃及び害虫等の防除

技術者の行う点検は、原則として、法10条に定める帳簿書類（点検記録）によって行うが、必要に応じて自ら点検を行う。

点検の結果、維持管理の不備、施設・設備の構造に問題があると思われるときには、その旨を施設の管理者に通知するとともに改善策を講じる。

3. 業務内容

(1) 飲料水水質検査

本作業は「水道法」および「建築物における衛生環境の確保に関する法律」に基づき、飲料水の水質検査を実施する。

業務対象：文化ホール 受水槽系統 1検体

検査種類	周期	検査項目
基本16項目検査	※年2回	一般細菌、大腸菌群、鉛、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素および亜硝酸態窒素、亜鉛、鉄、銅、塩素イオン、蒸発残留物、有機物等、PH値、味、臭気、色度、濁度
簡易11項目検査	※――	一般細菌、大腸菌群、鉛、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素および亜硝酸態窒素、塩素イオン、有機物等、PH値、味、臭気、色度、濁度
夏期12項目検査	6月1日～9月30日の間に1回	クロロホルム、ジブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン、ブロモホルム、総トリハロメタン、シアン化物イオンおよび塩化シアン、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、臭素酸、トリクロロ酢酸、ホルムアルデヒド、塩素酸

※基本16項目の水質検査の結果、鉛・亜鉛・鉄・銅・蒸発残留物の5項目について水質基準に適合していれば、次回の水質検査は、この5項目を省略した「簡易11項目」についての水質検査となる。

(2) 空気環境測定

本作業は「建築物における衛生環境の確保に関する法律」に基づき、空気環境測定を実施する。

業務対象： 文化ホール 全館

①測定項目	ア. 浮遊粉じんの量の測定 イ. COの含有率の測定 ウ. CO2の含有率の測定 エ. 室内温度の測定 オ. 相対湿度の測定 カ. 気流の測定
②周期	1回／2ヵ月
③測定箇所 および測定回数	ア. 専用部分に対し、測定する。 測定点数は、入居事業所測定数（区画数）および外気測定数とする。 イ. 測定は同一ポイントにて執務中1日2回測定する。
④測定ポイント数	計5ポイント

(3) 遊離残留塩素含有率の測定

対象：文化ホール 受水槽系統 1検体

①周期	1回／週
②測定箇所	給水末端水栓にて測定を行う。

－ 以 上 －